

ON THE ROAD

久留米市立屏水中学校3学年進路通信 No. 1

2021. 4. 13 文責 保坂圭祐

この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となる。迷わず行けよ、行けばわかるさ。(by アントニオ猪木)

いよいよ義務教育最終学年がスタートしました。厳しい表現をすれば、来年の3月31日までしか、3年生の進路は保障されていません。よって、2022年4月1日からの進路は、この一年間で自らつかみ取らねばなりません。

「仕事」って何？

3年生の中には、早い人で来年、他の人も数年後には「仕事」に就くと思います。さて、「仕事」とは何ですかと尋ねられたら何と答えますか。「収入を得るために技術を身につけたり、作業したりすること」でしょうか？

たとえば、農作物生産者であれば、農作物を育てる技術や作業を身につけることは重要です。しかし、それだけではなく、出荷した農作物を消費者に買ってもらう時に、「あそこの野菜（作物）をまた買いたい」と思ってもらうことが大事ではないかと思います。また、美容師であれば、お客の髪を切ることは作業ですが、カットの出来や接客態度により、「このお店をまた利用したい」と思ってもらったり、周囲に広めてもらったりすることが店の売り上げにつながると考えます。つまり、「仕事」＝**技術・作業＋お客を喜ばせること**だと思えます。

そして、一人ひとりがそのような「仕事」に就くために、中学卒業後、どんなルートをとればよいのか？中学卒業後、すぐに実現できる「仕事」もあれば、高校、大学へと進学しなければ実現できない「仕事」もあると思います。ですから、一人ひとりにとっての「進路」とは、必ずしも高校進学ではなく、自分が就きたい「仕事」へのルートだと考えます。

私の娘は、保育園に通っていた頃より「将来は保育士になる！」と決意し、今春より大学へ進学しました。しかし、3年生の中には、まだ将来就きたい「仕事」を決めきれていない人もいます。そのような人は、「こんな仕事であれば、少々きついことがあってもやっていける」ということを考えてみてはどうでしょうか？また、将来希望する仕事がたくさんある人は、それぞれの「仕事」を実現する「進路」をイメージし、この一年で少しその幅をしぼる作業をしてみてはどうでしょうか？

学級の雰囲気こそが全員進路獲得を可能にする。

今年の3学年の学年目標（スローガン）を「互いを認め、ともに高め合い、全員進路獲得～知り、共感、行動～」にしました。これは3学年の生徒だけでなく先生たちのスローガンでもあります。個人の努力だけで「全員進路獲得」が達成できるのでしょうか？

一人ひとり、さまざまなからしの中で屏水中学校に通ってきています。学校生活の一部に一人ひとりのくらしがあるのではなく、一人ひとりのくらしの一部に学校生活があると思っています。つまり、学校で見せている友だちの姿がその人のすべてではないということです。ですから、一人ひとりの生活を理解したうえで、お互いの力を出しあいながら、支え合う学級・学年となり、この一年間で、中学校卒業後の「進路」をつかみ取ってほしいと願っています。

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んでいくよ 風の中を力の限りただ進むだけ その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番 大切なんだ さあ心のままに 365日 (by AKB48)